

疑似体験セット

まなび体

by TOKUSHUIRYOU

no.3010《片マヒ用》 no.3130《高齢者用 ver.2》

まなび体から学ぼう。



TOKUSHUIRYOU

2-40, 14-CHOME, HASSAMU 14-JO, NISHI-KU, SAPPORO 063-0834 JAPAN
tel.011-663-0761 <http://www.tomoni.co.jp>

気持ちに寄り添うためには体験が必要と考え — ふたつの疑似体験セット「まなび体」 —

by TOKUSHUIRYOU

●疑似体験セット「まなび体」は、理学療法士監修のもとに開発された、高齢者・障がい者の身体機能と心の変化の一端を体験するための学習教材です。重たい身体、狭い視野、動きにくい関節…。高齢者・障がい者の視点から体験することで、サービスや設備の課題発見・解決につながります。福祉関連の職業を目指す学生の皆さんや子どもたちの学びの場、行政・企業での社員・職員研修、商品開発における高齢者・障がい者への合理的配慮の模索等、様々な場でご利用いただいております。

「まなび体」が、大切な人の痛みを知ることで相手を思いやる心の芽生えを促し、ともに支えあう社会づくりの一助となることを願っています。



疑似体験セット まなび体《片マヒ用》

no.3010 税別 ¥78,000

片マヒ用装着・ご利用案内DVD (11分)、キャリングケース付き

Mサイズ： ■ イエロー 腰回り 68-95cm、足サイズ 22.0-24.5cm
Lサイズ： ■ オレンジ 腰回り 85-115cm、足サイズ 25.0-27.0cm

●体の半分がマヒしてしまった場合どのような障がい起きるのでしょうか？ 高齢者の約65%が何らかの障がいを持っていると言われており、特に体の片側がマヒする傾向が多くみられます。疑似体験セットまなび体《片マヒ用》は、片マヒ状態における体の機能や心の変化の一端を体験するための学習教材です。

① 片マヒ用 下肢装具 (1個)

下肢装具は内反足・底屈※の形状になっています。装着すると、膝が伸びて曲げにくい状態となり、片マヒ特有の姿勢になります。

※内反則：足の裏が内側を向く状態。

底 屈：つま先立ちをするように足首が伸びる状態。

② 片マヒ用 肘サポーター (1個)

装着すると、肘が少し曲がった状態に半固定され、片マヒ特有の屈曲した状態になります。

③ 片マヒ用 腰サポーター (1個)

右肘を、面ファスナー部分で腰サポーターに固定します。これにより片肩が下がり、右後ろに引かれる片マヒ特有の姿勢になります。

④ 杖 (1本)

身長 145 ~ 185cmまで調節可能。

⑤ 片マヒ用 装着・ご利用案内DVD (11分)



としました。



「まなび体」から学ぶ。

理学療法士 岡田しげひこ

●「片マヒ」は脳卒中などで体の半分がマヒしてしまった状態を言います。半身のマヒによって、片手、片足での動作を強いられ、過剰な負荷がかかりやすく、そのため、それまで当たり前に行っていた日常生活での作業や歩行などに思った以上の支障が生じます。

「高齢者」には誰もが歳を重ねることとなりますが、高齢になるにしたがい体の機能にもいろいろな変化が現れてきます。体力が落ちたり、足腰が弱くなったり、バランスをとりにくくなったりすることで、いつの間にか日常生活に支障が生じてきます。

疑似体験セット「まなび体」は、このような日常生活に支障となる体の不自由さを疑似体験するための学習教材です。

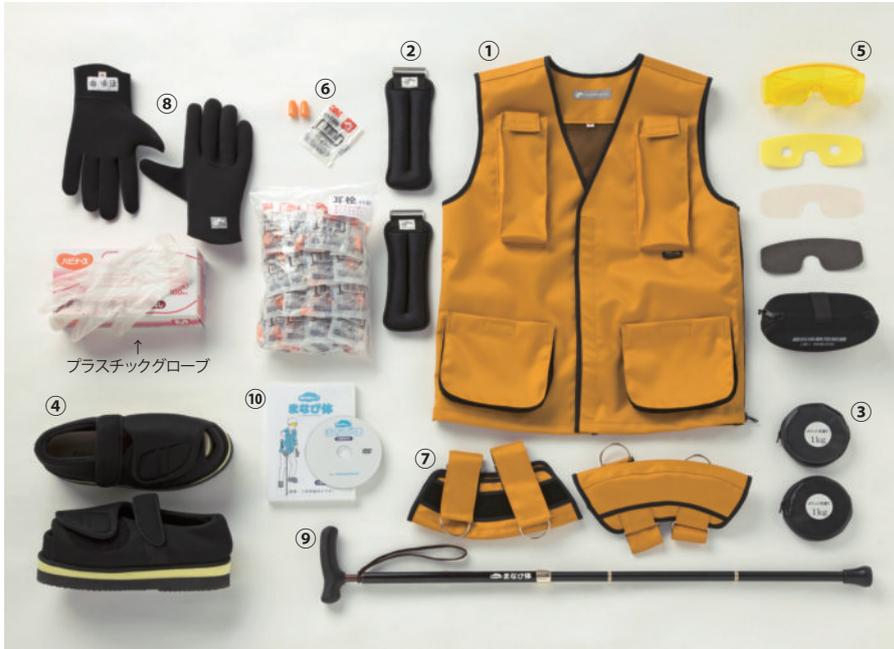
この「片マヒ」と「高齢者」の疑似体験を通して、普段私たちが当たり前に行っている動きに「あれ？やりにくいな？」「あれ、ちょっと困ったな」「あ、ちょっと不安だな」という感覚を、ぜひ、体で感じていただきたいのです。大事なことは、無理に頑張らないこと。その不安定感をそのまま受け入れることです。

私たちがごく普通に昇り降りしている階段や、なげなく越えている段差などが、「片マヒ」や「高齢者」の方々にとってはバリア（障壁）となることを体験し、その上で、「そこに手すりがあったらいいな」「段差がもっと低かったらいいな」「こんな風に介助してもらおうと安心だな」というようなことを思い、また、考えていただければと思います。



岡田しげひこ プロフィール

●1978年:神奈川県総合リハビリテーション事業団、理学療法士。1988年:医療法人秀友会札幌秀友会病院リハビリテーション科科长、1996年より診療部長。2000年:(社)北海道総合在宅ケア事業団 機能訓練指導部長、2006年よりリハビリテーション支援部長。2013年4月より特定非営利活動法人HPT統括部長となり現在に至る。



疑似体験セット まなび体《高齢者用 ver.2》

no.3130 税別 ¥105,000

高齢者用装着・ご利用案内DVD(11分)、キャリングケース付き

Mサイズ: ■イエロー バスト 80-100cm、足サイズ 22.0-24.5cm

Lサイズ: ■ブルー バスト 100-120cm、足サイズ 25.0-27.0cm

●年齢を重ねると、人の体はどのような状態になるのでしょうか？そして、その体の状態は私たちがどのような気持ちにさせるのでしょうか？疑似体験セットまなび体《高齢者用 ver.2》は、高齢者の体の機能や心の変化の一端を体験するための学習用教材です。

① 高齢者用 ベスト(1着)

ベストの前面に重りを装着することで、抗重力筋の低下した高齢者特有の前傾姿勢をつくりだします。

② 下部ポケット用 重り(1kg×2個)

③ 胸ポケット用 重り(500g×2個)

④ 高齢者用 シューズ(1足)

シューズ片方の重さは約700gほどあり、高齢者に多く見られる足腰の筋力低下を感じることが出来ます。また、特殊なインソールと靴底によって、自然と腰が曲がり、同時にO脚の状態をつくり出し、高齢者特有の姿勢になります。

※「高齢者用シューズ」は理学療法士監修のもとに、リハビリ靴・介護靴の専門メーカー徳武産業(株)と(株)特殊衣料が共同開発した商品です。

徳武産業(株)の安心ブランド
「ケアシューズ あゆみ」



⑤ 高齢者用 眼鏡(1組)

視野狭窄や視力低下、白内障および盲人体験用の眼鏡セットです。黄色い眼鏡本体と3枚の体験シートを組み合わせて使用します。

⑥ 耳栓(2個1組×40組)

周囲の話し声や物音を聞き取りにくくする遮音効果があります。

⑦ 高齢者用 肘サポーター(1双)

肘は少し曲がった状態で半固定され、肘関節の動きが鈍くなります。

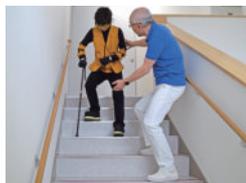
⑧ 高齢者用 手袋(1双)

素材に強い弾性を持たせているため、握力を低下させ、指先の細かい動きは鈍くなります。

⑨ 杖(1本)

身長145～185cmまで調節可能。

⑩ 片マヒ用 装着・ご利用案内DVD(11分)



お客様の声

「まなび体」の活用事例

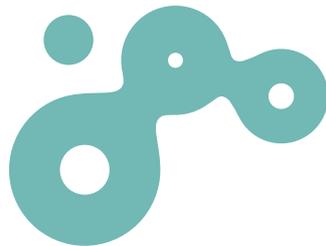


●**ミサワホーム株式会社 様** (a, b) : 古くから介護事業にも取り組むハウスメーカーとして、在宅継続のリフォーム提案から施設・高齢者住宅の建築とサービス提供にかかわるスキル向上のため、社内の研修にて活用。お客様に対しても、「まなび体」を使って体験いただくことで、「住まいのそなえ」の提案につなげ、より多くの方がよりその方らしく高齢期の暮らしをお送りいただけるよう努めています。

(ミサワホーム株式会社 開発事業部 主幹 田村 巖 様)

●**北海道医療大学 様** (c, d) : 本学リハビリテーション科学部では、医療現場ばかりではなく、在宅や施設で働く理学療法士の養成を意識し、学内で教育を進めています。その教育の中で大切な事の一つに、教科書に書いてある知識を自分の感覚として可能な限り体感する「暗黙知」の習得が挙げられます。要するに、「体が思うように動かさない」とはどういうことなのか、そしてそのことによりどのような心持となるのかを自身の体験として擦り込むことです。これからの時代を見据え、高齢者はリハビリテーションの主対象となります。まなび体の使用を通して、私たちは多くの「暗黙知」を得ています。

(リハビリテーション科学部 理学療法学科 教授 鈴木 英樹 様)



TOKUSHUIRYOU
株式会社 特殊衣料

〒063-0834 札幌市西区発寒14条14丁目2-40

tel.011-663-0761 fax.011-663-0955 <http://www.tomoni.co.jp>

《ご注意》

※商品の色は印刷の関係上、実際の商品と若干異なる場合があります。

※このパンフレットは2016年9月現在のものです。製品の機能向上等のための記載内容を予告無しに変更する場合があります。